

第二期九州観光戦略 2023年目標値の修正について

2017.5.24
第二期九州観光戦略委員会

3月28日に閣議決定された「観光立国推進基本計画」もふまえ、好調なインバウンド関連を中心に目標値を上方修正し、観光消費額全体として2023年で4.0兆円とし九州の基幹産業を目指す

実績

	2014年	2015年	2016年
観光消費額	2.2兆円	2.6兆円	2.4兆円
訪日外国人	1,939億円	3,424億円	4,093億円
国内宿泊	16,272億円	18,015億円	16,363億円
国内日帰り	3,698億円	4,197億円	3,471億円
訪日外国人数	167.5万人	283.2万人	372.1万人
延べ宿泊者数	4,185万人泊	4,461万人泊	4,380万人泊
旅行消費単価 (訪日外国人)	103,000円	123,000円	110,000円

2023年 目標

	修正前	修正後	備考	修正後（案）
観光消費額	3.5兆円	4.0兆円		3.1兆円
訪日外国人	6,406億円	12,000億円		6,659億円
国内宿泊	21,555億円	22,400億円		19,760億円
国内日帰り	6,574億円	5,600億円	実勢をふまえて下方修正	4,763億円
訪日外国人数	440.6万人	786万人		539.8万人
延べ宿泊者数	6,510万人泊	6,800万人泊		5,136万人泊
旅行消費単価 (訪日外国人)		150,000円	成果の目安となるKPIとして設定 (観光消費額の上方修正に連動)	124,000円

<参考>
2019年目標
(第2次アクションプラン)

- ◆ 観光消費額を伸ばすため、訪日外国人数のアップに加えて、訪日外国人の旅行消費単価 15万円をKPIに設定
- ◆ 目標値算出の基本的な考え方：2012-2015年の年平均伸び率を用い、2023年まで伸ばさせて各年目標値を算出